

第66回 日本選手権（25m）水泳競技大会 監督者会議資料

1 競技について

- (1) 本競技会は、2024年度（公財）日本水泳連盟競泳競技規則にのっとり実施する。
- (2) 競技は、予選およびB決勝・決勝ともに8レーンで、タイムスケジュールどおりに行う。
- (3) 女子800m自由形・男子1500m自由形はタイムレース決勝とし、最終組は決勝時間帯に行う。
- (4) 決勝は、予選の結果上位8名が出場できる。ただし、棄権者が出たときは、次点上位より順次出場権を与える。
- (5) B決勝は、予選申込者25名以上の種目に限って行う。
- (6) B決勝は、予選の結果、決勝進出者8名を除き上位8位（9位～16位）が出場できる。ただし、棄権者が出たとき、または決勝へ繰り上げ出場者が出たときは、次点上位より順次出場権を与える。
- (7) B決勝・決勝の進出について、同記録で予定人員を超えた場合は、スイムオフを行う。
- (8) 補欠が同記録で複数いる場合は、抽選を行う。補欠は、B決勝のある種目は3名、予選・決勝のみの種目は2名とする。
- (9) 招集は競技開始10分前から行う。本人確認のため、招集所にはADカードを持参すること。招集の際に水着の確認を行う。
- (10) 予選を棄権する場合は、所定の用紙を当該競技当日の予選競技開始20分前（9：40）までにリゾリューションデスクに届け出ること。時間内に届け出を行わなかった場合は、棄権料3,000円を徴収する。また、無断で棄権した場合は、さらに罰金3,000円を徴収する。決勝を棄権することはできない。やむなく棄権する場合は、その予選競技終了後1時間以内に、棄権料3,000円を添えてリゾリューションデスクに届け出ること。女子800m・男子1500m自由形タイムレース決勝は、組み換えを行うことがあるので、監督者会議までに届け出ること。
- (11) 競技成立後は、折返監察員の指示によりプール横から退水すること。ただし、決勝1位の選手は自分のレーンから退水し、直ちにフラッシュインタビューを受けること。
- (12) 800m自由形・1500m自由形の周回通知は、水中ラップカウンターを使用し、コールは行わない。
- (13) 公式計時SEIKOによる計時バックアップは、A面は水中ビデオ計時装置、B面は半自動計時装置を使用する。
- (14) 選手紹介は、予選は組のみ紹介、B決勝は各レーンで選手紹介、決勝は入場ゲートで選手紹介を行う。
- (15) 本競技会は上訴審判団を設置する。
上訴審判は、金子日出澄、丸笹公一郎、村松さやか、八塚明憲（山根一寿）、内田孝太郎とする。
- (16) 本競技会は、日本アンチドーピング規定が適用されるので、常にADカードを携帯すること。

2 表彰について

- (1) 1位から3位にメダルを授与し表彰する。1位から8位に賞状を授与する。
- (2) 賞状の受け取りおよび記録証の発行は、選手受付で行う。記録証の発行時間は、10：30から予選終了後1時間とし、また決勝競技開始から決勝終了後30分までとする。
- (3) 最終競技終了後、JOC杯授与式を行う。

3 全体スケジュール

期日	事項	開門時間	予選競技		決勝競技		閉門時間
			開始時間	終了予定	開始時間	終了予定	
10月18日(金)	公式練習日	11：00	練習時間 11：00 ～ 18：00				18：15
10月19日(土)	1日目	7：30	10：00	12：03	14：00	18：10	18：55
10月20日(日)	2日目	7：30	10：00	11：23	14：00	16：55	17：40

4 プールの使用について

- (1) メインプール
 - ① 水深は3m、水温は27.5度に設定する。
 - ② 練習は競技開始15分前までとする。

③ 昼休みの練習は、当日のB決勝・決勝（タイムレース決勝最終組を含む）の出場者とする。

④ 練習時のレーン設定

A面……0レーン：ペースレーン、9レーン：ダッシュレーン

B面……0レーン：ダッシュレーン、9レーン：ペースレーン

⑤ パドル・コード類の使用は禁止とする。

(2) サブプール

① 水深は3m、水深は27.5度に設定する。

② レーン設定

0レーン：コード使用可能レーン、1レーン：ダッシュレーン、9レーン：ペースレーン

③ パドルの使用については、安全面に十分留意すること。コード類の使用については、他の選手・コーチの妨げにならないよう十分留意する。

5 水泳場の使用について（10月18日～20日）

(1) 館への入退場は、18日は1階東側のみ、19日・20日は2階東側のみとする。（会場図参照）

(2) 館への入場後、選手控え場所・プールサイドへ入る際には、上履きに履き替えること。（土足禁止）

(3) 選手席・サブプールの選手控え場所は、公式練習日から使用できる。

(4) 選手席・選手控え場所以外は、場所取り禁止とする。

(5) マッサージ台は、サブプールのプールサイド選手控え場所、サブプールに隣接する第1会議室選手控え場所のブルーシート上、3階エントランスのマッサージエリアに設置できる。なお、1階エントランスにはトレーナーオープンプースを設置する。

※事前申請を必要とする。

(6) アイスバスは、サブプールに隣接する第1会議室前のプールサイドに設置できる。当日設置する前に、リゾリューションデスクに申し出ること。

※事前申請を必要とする。

(7) 荷物は、入館日から10月20日まで、チーム席に近い観客席の車いすスペースに置くことができる。

(8) 更衣はメインプール更衣室を使用し、更衣のみの使用とし、ロッカーは使用できるが施錠はできない。更衣室を控え場所としたり、食事をすることはできない。練習終了後は荷物を持ち帰ること。置き荷物は忘れ物として扱う。サブプール更衣室はトイレ時のみの使用とする。

(9) メインプールを使用した際は、更衣室で水気を拭き取り後、エントランスに出ること。エントランスでは上履きで通行すること（裸足の通行は厳禁とする）。

(10) 観客席の2階席は一般観客席とする。予選の一般観客は予選終了後退出し、その後、決勝の一般観客が入場する。

(11) 館内にいるときは、ADカードを常時首から下げて着用すること。また入退館に際しては、ADカードを提示し、係員の指示に従うこと。紛失した場合は、有償（3,000円）にて再発行を受けること。ただし、管理者・付添者のADカードは再発行しない。

6 注意事項、その他

(1) 全ての競技者は、競技終了後、予選・B決勝・決勝・タイムレース決勝を問わず、ミックスゾーンを通り退場すること。ミックスゾーンには、競技を終えた競技者以外は立ち入ることはできない。立ち入り制限区域を順守すること。

(2) 決勝時・表彰時のビブスゼッケン着用義務を順守すること。

(3) 盗難防止のための貴重品の保管については、各自の責任において管理すること。

(4) プログラム（予選スタートリスト掲載）は、1部2,000円で販売する。決勝スタートリストは、水泳連盟HPで公開する。

(5) インターネット配信

YouTubeにて、2日間の全競技をLIVE配信する。

(6) 競技結果を、下記の公式サイトで確認することができる。

① SEIKO競泳リザルト速報サービス (<https://swim.seiko.co.jp/>)

② 日本水泳連盟公認モバイルサイト「スイムレコードモバイル」(<http://sp.j-swim.jp/>)